

# 積雪・凍結による転倒災害等を防ぎましょう！

## ～都内における冬期特有の災害防止～

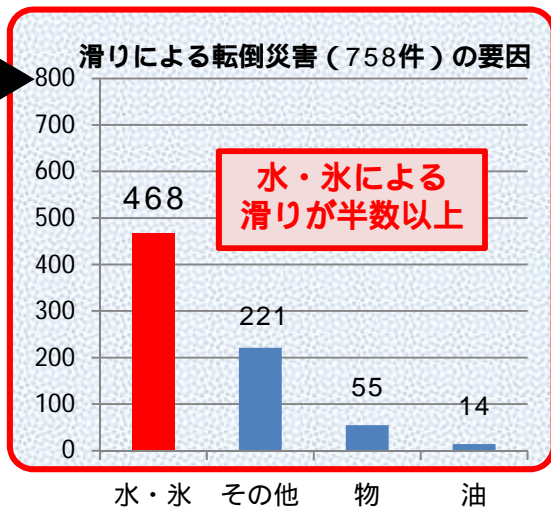
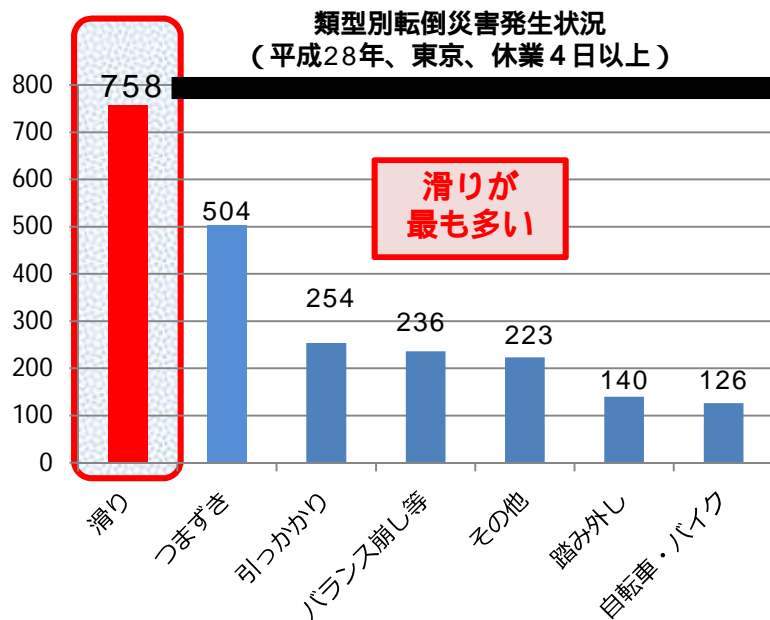
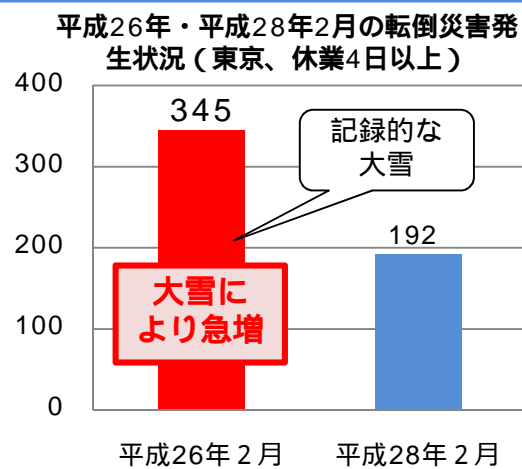
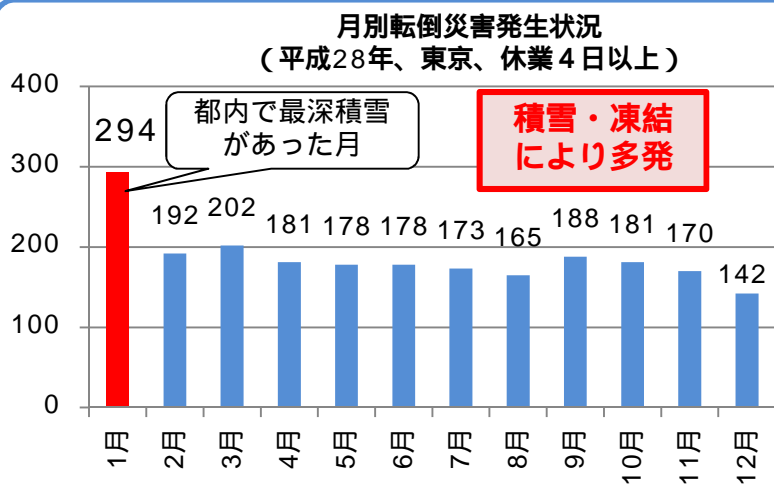


冬期は、積雪・凍結を原因とする、転倒災害、自転車及び車両（オートバイ含む）運転中の交通労働災害、建物屋根等の除雪作業中の墜落・転落災害等の労働災害が懸念されます。

当局管内では、平成26年2月の記録的な大雪により、積雪・凍結を原因とする転倒災害が大幅に増えましたが、こうした降雪によって、屋外のみならず、屋内でも、水や氷によって滑るなどの転倒災害が多発しています。

都内では、労働者が積雪や凍結に不慣れであることに留意し、天候急変に対処できるよう情報収集や早めの準備等、転倒災害等防止に万全の取り組みをお願いします。

### 都内における転倒災害の発生状況



資料出所：労働者死傷病報告

冬期の転倒災害の発生状況は、天候による影響を大きく受け、積雪・凍結により多発します。平成28年は1月に積雪となりましたが、大雪があった平成26年の2月は、千代田区でも積雪27cmとなり、転倒災害が例年と比較して大幅に増えました。

転倒災害の原因は滑りが最も多く、滑りの原因は水・氷が半数以上を占めています。滑りによる転倒の発生場所は、駐車場、建物入口、坂道、屋外の階段などのほか、屋内でも雪で濡れた床面などで多く発生しています。



東京労働局  
労働基準監督署

**2月は、転倒災害防止の重点取組期間です！**

## 重点取組期間に実施する事項 (2月の実施事項)

- ア 安全管理者や安全衛生推進者が参画する場合 (安全委員会等) における転倒災害防止に係る現状と対策の調査審議
- イ チェックリストを活用した安全衛生委員会等による職場巡視、職場環境の改善や労働者の意識啓発

## 冬季における転倒災害防止対策

- 気象情報の活用によるリスク低減の実施
- ア 大雪、低温に関する気象情報を迅速に把握する体制の構築
- イ 警報・注意報発令時等の対応マニュアルの作成、関係者への周知
- ウ 気象状況に応じた出張、作業計画等の見直し
- ア 通路、作業床の凍結等による危険防止の徹底
- イ 事務所への入室時における靴裏の雪、水分の除去、凍結のおそれのある屋内通路、作業場への温風機の設置等による凍結防止策の実施
- ウ 屋外通路や駐車場における転倒災害リスクに応じた「危険マップ」の作成、関係者への周知
- エ 凍結した路面、除雪期間通過後の路面における荷物の運搬方法、作業方法の見直し

## あなたの職場は大丈夫？ 転倒の危険をチェックしてみましょう

転倒災害防止のためのチェックシート

No.	チェック項目	□
1	通路、階段、出口に物を放置していませんか	<input type="checkbox"/>
2	床の水たまりや氷、油、粉類などは放置せず、その都度取り除いていますか	<input type="checkbox"/>
3	安全に移動できるように十分な明るさ (照度) が確保されていますか	<input type="checkbox"/>
4	転倒を予防するための教育を行っていますか	<input type="checkbox"/>
5	作業靴は、作業現場に合った耐滑性があり、かつちょうど良いサイズのものを選んでいませんか	<input type="checkbox"/>
6	ヒヤリハット情報を利用して、転倒しやすい場所の危険マップを作成し、周知していますか	<input type="checkbox"/>
7	段差のある箇所や滑りやすい場所などに注意を促す標識をつけていますか	<input type="checkbox"/>
8	ポケットに手を入れたまま歩くことを禁止していますか	<input type="checkbox"/>
9	ストレッチ体操や転倒予防のための運動を取り入れていますか	<input type="checkbox"/>

## 積雪・凍結を原因とした災害防止にあたって特にお願いしたいこと

### 1 屋外の移動中等における転倒災害防止

駐車場や建物入口付近の通路は、雪が踏み固められることにより、転倒のリスクが大きくなります。融雪・除排雪を徹底してください。また、段差、側溝等が積雪により隠れ、つまずきの危険のおそれがある場合には危険マップやポール等の標識の設置 (見える化) 等により注意喚起してください。

### 2 屋内における転倒災害防止

体に付いた雪が、屋内の床面・階段を濡らすことにより、転倒のリスクが大きくなります。水たまりや濡れた床面等の拭き上げを徹底してください。また、滑りの危険のおそれがある場所には危険標識の設置 (見える化) 等により注意喚起してください。

### 3 車両運転中の労働災害防止

降雪のあった翌日は、凍結による転倒災害が多発していることから、できるだけ自転車・オートバイク等の利用は控えて下さい。また、積雪・凍結時の車の運転は、適切な走行計画を作成し、冬用タイヤ等適切な装備をした上で、安全運転を徹底してください。

### 4 事業場等の建物の屋根での除雪作業における墜落等の労働災害防止

事業場等の建物の屋根の除雪作業においては、気候条件に注意し、高所からの墜落・転落を防止するための適切な保護具を使用を徹底してください。

### 5 建設工事現場における積雪を原因とした倒壊等の労働災害の防止

建設現場に設置される仮設物への積雪による倒壊を防止するため、適切な時期に除雪を行ってください。

### 6 健康管理と体力作り

健康管理を行うとともに、ストレッチ・体操の実施、歩き方の指導などを行うことが望ましいです。

転倒災害防止のためのチェックシートや、より具体的な対策については、STOP! 転倒災害プロジェクト特設サイトで入手可能です。